

(一般情報)

「粒すけ」現地検討会を開催！！

～倒伏しにくい・多収・良食味の千葉県育成新品種の作付を推進～

千葉農業事務所改良普及課 令和2年8月13日発

農業事務所では、8月7日に、千葉市農政センターにおいて水稻大規模生産者等を対象とした「粒すけ」現地検討会を開催したところ、19名の参加がありました。

千葉地域の水稻は、生産者の規模拡大等により5月中旬以降の移植が増加し、「コシヒカリ」の倒伏や収量低下が問題となっています。そこで、農業事務所では、「コシヒカリ」より倒伏しにくく、多収で良食味、いもち病に強い「粒すけ」の作付を推進しています。

当日は、農林総合研究センター水稻温暖化対策研究室の職員が「粒すけ」の特性と栽培のポイントについて講演を行いました。続いて、千葉市若葉区に設置した「粒すけ」と「コシヒカリ」を比較した栽培展示ほ場で現地検討を行い、「粒すけ」が「コシヒカリ」より草丈が低く、葉色がやや濃い生育状況であることを確認しました。

今後は、展示ほの収量調査結果等を生産者に情報提供し、作付の拡大を推進します。



講演会の様子



現地検討では、「次年度是非作付けしてみたい！」との声がありました